

企画名：情報発信ツールを用いたネオニコチノイド系農薬の認知度向上と情報収集の場の提供

団体名：公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク

1. 報告要旨

2015年にネオニコチノイドに関する認知度調査アンケートを実施し、分析結果の報告、講演、生産者や流通業者の話を伺うシンポジウムを開催しました。ネオニコチノイド系農薬の危険性に対する認知度が低いことが分かり、「認知度向上と行動につながる取り組みを実施していく必要がある」と考え、親しみやすく、子どもたちにも伝えやすいツールとして紙芝居を作製しました。

◆紙芝居①「ネオニコチノイド系農薬ってなあに？」

②「お家のなかのネオニコチノイド？」

◆無料ダウンロードページ URL：<http://www.melon.or.jp/melon/syokubukai.html>

この紙芝居を活用して、ネオニコチノイド系農薬の問題について楽しく学んでもらうために、ネオニコチノイド不使用の田んぼでの生きもの調査を目玉にした見学会を開催しました。紙芝居と講師郷右近秀俊さんのお話が互いに補完し合い、ネオニコチノイドの危険性と郷右近さんの取り組みのお話がよりわかりやすく参加者に伝わったと思われまふ。ネオニコチノイドへの関心を高めるとともに、環境保全に参加者の意識が向いたことも、環境団体としての大きな収穫でした。

また他団体主催のイベントでも紙芝居を上演し、ブース展示を行いました。「ネオニコチノイド」という名前は商品に記載されておらず、成分名で表記されていることを伝えると参加者は驚いていました。

活動全体を通して大切だと感じたのは、「補完し合うこと」です。紙芝居を上演してからブース展示の対応をすることで、ネオニコチノイドに興味を持ってもらった状態で説明することができました。そしてブース展示や講話があるからこそ紙芝居の内容をより理解してもらえたようでした。また、紙芝居ではネオニコチノイドの成分名を覚えてもらうために、童謡「ちょうちょ」のメロディに合わせて成分名を歌うため、楽しく覚えてもらえたと思われまふ。

食の安全と環境保全に貢献できるよう、今後も様々なイベント等で紙芝居を上演し、ブース展示等でネオニコチノイド系農薬の認知度向上を図っていきたく思ひまふ。また、生産者への働きかけも視野にいれることを検討していきまふ。

2. 成果物

- | |
|--|
| 1. 紙芝居 第1作目 「ネオニコチノイド系農薬ってなあに？」 |
| 2. 紙芝居 第2作目 「お家のなかのネオニコチノイド？」 |
| 3. 「仙台長町紙芝居フェスティバル」での上演 ：参加者 30名（2017.9.2） |
| 4. FMたいはくでのラジオ放送（2017.9.4） |
| 5. 「田んぼの中には何がいろ？～ネオニコチノイドフリーの田んぼで生きもの調査～」での上演 ：参加者 15名（2017.9.16） |
| 6. 「MELON フェスタ」での上演：参加者 87名（2017.9.23） |
| 7. 「環境フォーラムせんだい 2017～みんなでつなく環境の輪～」での上演 ：参加者 60名、アンケート回答者 40名（2017.12.10） |